



2019年5月14日

各 位

会 社 名 エコモット株式会社
 代表者名 代表取締役 入澤 拓也
 (コード：3987、東証マザーズ、札証アンビシャス)
 問合せ先 取締役管理部長 工藤 貴史
 (TEL. 011-558-6600)

業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2018年5月13日に公表した2019年3月期の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

●業績予想と実績の差異について

2019年3月期通期個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,924	133	120	82	18.32
実績 (B)	1,611	24	25	11	250
増減額 (B - A)	-313	-108	-95	-71	
増減率 (%)	-16.3	-81.3	-79.2	-86.3	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	1,625	117	115	79	20.19

差異の理由

当期の売上計画におきまして、インテグレーションソリューションの新規市場として位置付けていたLPWAサービスに関して、デバイス開発やアプリケーションの仕様検討等に時間を要し、リリースが翌期へ持ち越されることとなりました。

また、コンストラクションソリューションの新規市場として位置付けていた危機管理型水位計につきましては、想定以上に低単価での市場競争のもと、機能による差別化が難しく、計画受注数の獲得に至りませんでした。加えて、大口の個別カスタマイズ案件について売上計上を見込んでおりましたが、仕様検討に時間を要し、翌期へ持ち越しとなりました。

一方で、当期を将来の飛躍的成長に向けた経営基盤強化の1期目と位置づけ、積極的な人員計画を実行しており、販売費及び一般管理費は概ね計画通りの結果となりました。

上記の理由により、インテグレーションソリューション、コンストラクションソリューションに関する売上高及び売上総利益に関して業績見込みと差異が生じました。その他のソリューションに関する売上高や、販売費及び一般管理費は業績見込みと概ね同水準となったため、営業利益、経常利益及び当期純利益が2019年3月期個別業績予想数値を下回る結果となりました。

2019年3月期より持ち越しとなったLPWAサービス、大口の個別カスタマイズ案件につきましては、2020年3月期売上計画に織り込み、実現を目指してまいります。

以 上